

# PowPak® | 取付方法

EcoSystem®付き調光モジュール

Energi TriPak®ファミリー製品

041-986  
Rev. A  
09/2012

**RMP-ECO32-JA-B**      **RMP-ECO32-200-JA**  
100 V〜 50/60 Hz 40 mA      200 V〜 50/60 Hz 40 mA

EcoSystem®: 18 V= 125 mA

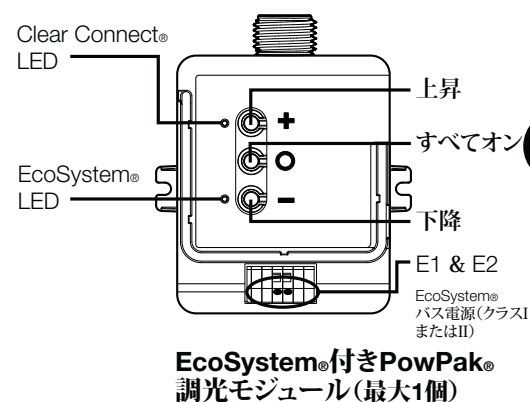
**重要事項:**製品を取り付ける前に、必ずお読みください。

- 製品の取付は、資格を有する電気工事が電気関係法令に従って行う必要があります。
- 注:配線は適切な銅線を使用してください。
- 本品の仕様と定格が用途に適していることを確認してください。
- 製品に損傷がある場合は、**使用しないでください。**
- 結露が明らかに付着している場合は、製品を完全に乾かして取り付けしてください。
- 動作周囲温度0℃ - 40℃ 相対湿度90%以下(無結露)
- 室内での使用に限ります。

## 必要部品

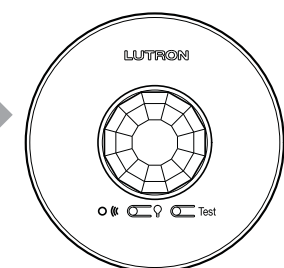
システムごとに次の部品を用意する必要があります。

PowPak® 調光モジュール(1個)

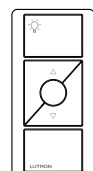


EcoSystem®付きPowPak®  
調光モジュール(最大1個)

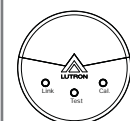
ワイヤレストランスミッタ(最低1個)



Radio Power Saver™  
在室センサー  
(最大6個)

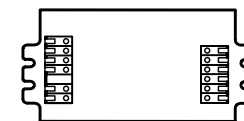


Pico®ワイヤレス  
コントロール  
(最大9個)



Radio Power Saver™  
昼光センサー  
(最大1個)

一台以上のルートロン社製LEDドライバー(Aシリーズ)



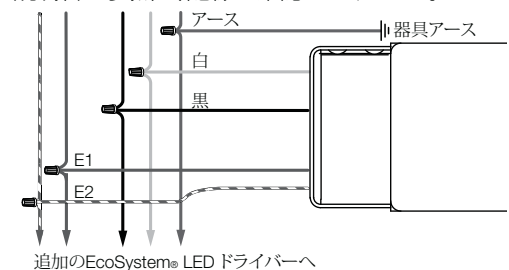
最大32個。照明器具にあらかじめ取付可能。

**警告** 感電の危険があります。死亡または重傷を負うおそれがあります。本装置を取り付ける前に、サーキットブレーカーの電源を切ってください。

## はじめに (プログラミングについては裏面を参照してください)

### 1 EcoSystem®デバイスと照明器具を取り付け、配線する

電源線(ホット、ニュートラル、アース)を各器具に接続します。バスケーブ( E1およびE2)を各器具に接続します。接続が完了したら、すべての照明器具に電源を入れます。輝度が最大になるはず。照明器具の輝度が最大にならない場合は、器具の取付説明書を参照し、配線を確認してください。



ルートロン社製LEDドライバー(Aシリーズ)

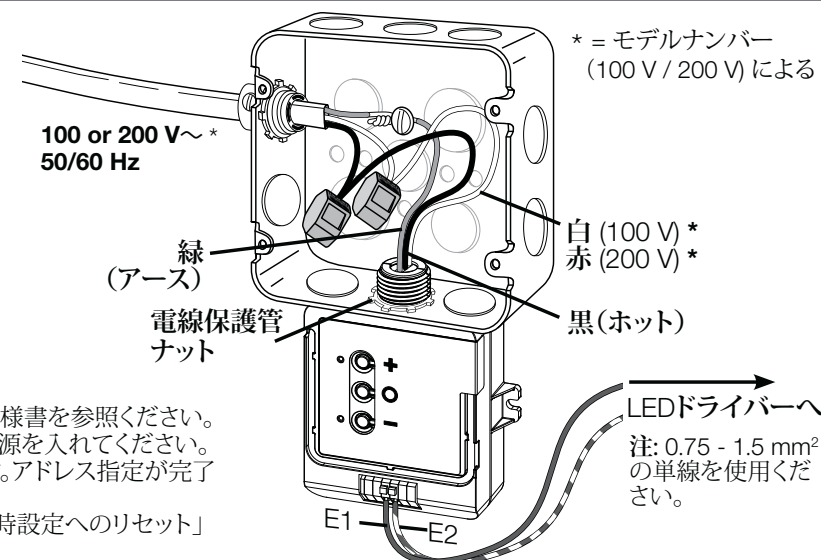
### 2 PowPak®調光モジュールを取り付ける

PowPak®調光モジュールを取り付ける場合、付属の電線保護管ナットを用いてモジュールを固定してください(右図を参照)。

#### 推奨取付場所

室内中央に取り付けてください。これにより適切な電波範囲が確保されます。

ジャンクションボックス内へ装置を取り付ける場合は、本品の仕様書を参照ください。取付が完了したら、PowPak®調光モジュールと全照明器具に電源を入れてください。個々の器具のアドレスが指定されると照明器具が調光されます。アドレス指定が完了すると、すべての照明器具が最大照度に戻ります。照明器具が適切にアドレス指定されない場合は、「工場出荷時設定へのリセット」のセクションを参照してください。



\* = モデルナンバー (100 V / 200 V) による

100 or 200 V〜\*  
50/60 Hz

緑 (アース)

電線保護管  
ナット

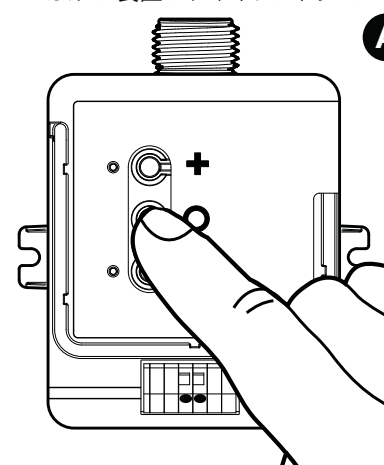
白 (100 V)\*  
赤 (200 V)\*

黒 (ホット)

LEDドライバーへ  
注: 0.75 - 1.5 mm<sup>2</sup>  
の単線を使用くだ  
さい。

### 3 ワイヤレストランスミッタをPowPak®調光モジュールに関連付ける

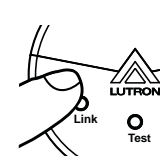
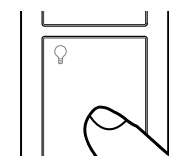
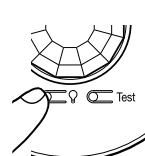
この手順を開始する前に、ほかのPowPak®モジュールが同じビル内に取り付けられていないことを確認してください。ほかの装置のワイヤレストランスミッタが、本装置に誤って関連付けられる可能性があります。



**A** PowPak®調光モジュール上で“O” (すべてオン) ボタンを6秒間、照明が点滅するまで押し続けてください。

Clear Connect®のLEDが1/2秒間オン、1/2秒間オフの速さで点滅し始めます。

**B** 各トランスミッタの指示ボタンを6秒間押し続けます。すべての照明が点滅し、ワイヤレストランスミッタが関連付けられたことを示します。\*



\* Q ボタンがない場合は、“照明オフ” ボタンを押してください。

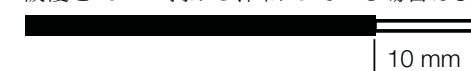
**C** PowPak®調光モジュール上で“O” ボタンを6秒間押し続け、関連付け設定を終了してください。

工場出荷時設定:すべてのワイヤレストランスミッタがすべてのEcoSystem®デバイスを制御するよう設定されています。

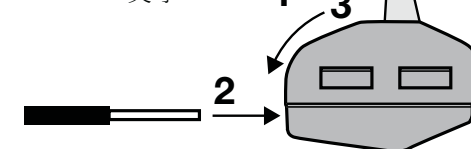
## 電線

直径1.6 mm<sup>2</sup>または2.0 mm<sup>2</sup>の銅線を使用してください。

被覆を10 mm剥がし、曲がっている場合はまっすぐ伸ばします。

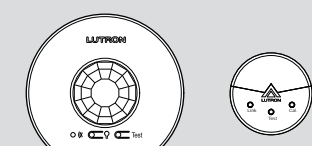


実寸



## 工場出荷時設定

### 在室センサー



**在室:**  
全照明が100%

**不在:**  
全照明がオフ

### ワイヤレストランスミッタ

オン: 全照明が100%プリセット  
オフ: 全照明がオフ

## 昼光の一時変更

関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの上昇ボタンを押すと、対応するPico®グループの照明器具の昼光設定が一時的に無効になります。

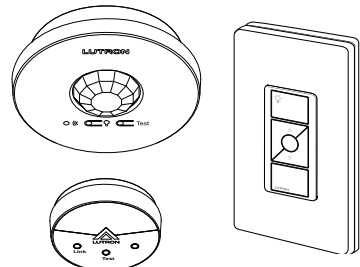
### 昼光の再有効化

次のいずれかの場合、Pico®ワイヤレスコントロールグループの昼光設定が再度有効になります。

- 一時変更の後、2時間が経過した場合。\*
- 対応するグループを制御するPico®ワイヤレスコントロールのON、OFFまたはプリセットボタンを押した場合。
- 関連付けたすべての在室センサーで不在状態が報告された場合。

\* Pico®ワイヤレスコントロールグループの昼光設定が無効になるたびに、2時間タイマーがリセットされます。

### 4 ワイヤレストランスミッタを適切な場所に取り付ける



注:詳細については、個別の部品取付説明書を参照してください。

### 5 昼光の校正

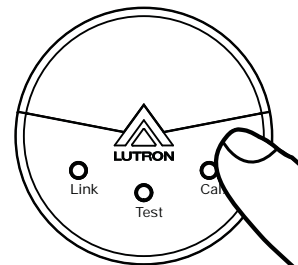
昼光センサーで室内の全器具を均等に制御する場合は、この手順を完了してください。それ以外の場合は、この手順を省いて裏面の手順6と手順11に進んでください。

**A** 室内の照明を好みの照度に設定します。

**B** “Cal.” ボタンを6秒間押し続けます。

**C** 退室後5分間で校正が完了します。

注:校正が完了すると全照明が点滅し、昼光モードになります。



## トラブルシューティング

www.lutron.jp

### PowPak®調光モジュールから接続された照明器具を制御できない

- PowPak®調光モジュールと照明器具に接続したブレーカーの電源が入っているかどうか確認してください。
- PowPak®調光モジュールが照明器具に接続されているかどうか確認してください。
- 工場出荷時設定にリセットします(裏面の手順を参照)。

### 照明器具がワイヤレストランスミッタに反応しない

- ワイヤレストランスミッタが、調光モジュールに関連付けられているかどうか確認してください。
- 工場出荷時設定へリセットします(裏面の手順を参照)。

### ワイヤレストランスミッタをPowPak®調光モジュールに関連付けることができない

- PowPak®調光モジュールに最大数のワイヤレストランスミッタが関連付けられています。以前に設定したワイヤレストランスミッタを取り外すには、ワイヤレストランスミッタのボタンを3回軽く押し、3回目に押した時にそのまま6秒間押し続けてから、さらに3回軽く押しします。

### PowPak® Clear Connect®(上)のLEDが点灯し、EcoSystem®(下)のLEDが点滅している

- 昼光が適切に校正されていません。Pico®ワイヤレスコントロールまたはPowPak®調光モジュールのいずれかのボタンを押して、校正し直してください。

# PowPak® | プログラミング

EcoSystem®付き調光モジュール

Energi TriPak®ファミリー製品

041-986  
Rev. A  
09/2012

すべてのプログラミングはオプションです。工場出荷時設定を使用する場合は、プログラミングの必要はありません。

- デバイスのグループ化
- 好みの照度の設定
- 全器具に最大照度設定
- 在室レベルの設定
- 全器具に最小照度の設定
- 列(窓からの)ごとによる昼光設定

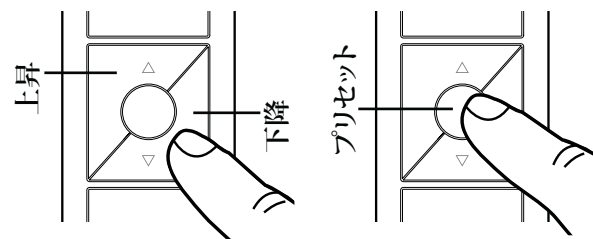
詳細については、各製品の取付説明書とプログラミング説明書を参照してください。

## 7 好みの照度を設定する(オプション)

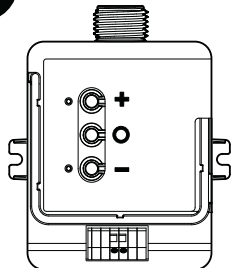
プリセットボタン付きPico®ワイヤレスコントロールの場合

**A** 照明を好みのレベルに調整します。Pico®ワイヤレスコントロールの“上昇/下降”ボタンを使用します。

**B** 好みのレベルを保存します。“プリセット”ボタンを6秒間押し続けます。



## 8 全器具の最大照度を設定する(オプション)



### 最大照度設定

スペースごとに最大照度を設定でき本設定を行うことで最大20%の照明電力が削減できます。

照明の最大照度を20%下げても人間の目にはほとんどわかりません。視覚的違和感が無く20%の電力が削減可能です。

最大照度設定を最大限に利用するには、自然光ができる限り室内に入っていないようにしてから、次の手順に従って設定してください。

**A** 最大照度設定モードにアクセスします。

“+”(上昇)ボタンを12秒間押し続けます。照明は高-低-高と点滅し、上のLEDが点灯します。

**B** 最大照度設定を調整します。

“+”(上昇)および“-”(下降)ボタンを用いて、照明を好みのハイエンド設定に調整します。(50 - 100%)

**C** 最大照度設定を保存します。

“○”(すべてオン)を6秒間押し続けて設定を終了します。上のLEDが点滅してから消灯し、新しい照度が保存されたことを示します。

## 10 全器具に最小照度を設定する(オプション)

廊下など特定用途の場合は、照明が消えないような設定が必要な場合があります。このようなエリアには10%オプションを選択してください。

**A** 最小照度調整モードにアクセスします。“-”(下降)ボタンを12秒間押し続けます。照明は高-低-高と点滅し、下のLEDが点灯します。

**B** 最小照度を調整します。“+”(上昇)ボタンを押して最小照度を10%に設定します。“-”(下降)ボタンを押してローエンドをオフに設定します。

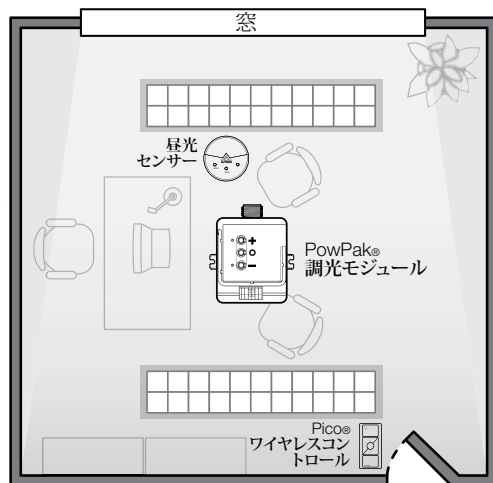
**C** 最小照度を保存します。“○”(すべてオン)ボタンを6秒間押し続けます。下のLEDが消灯し、新しい照度が保存されたことを示します。

## 6 デバイスをグループ化する(オプション)

デバイスをグループ化すると、Pico®ワイヤレスコントロールとRadio Powr Savr™昼光センサーを用いて、室内でグループ化した照明のみを制御できます。

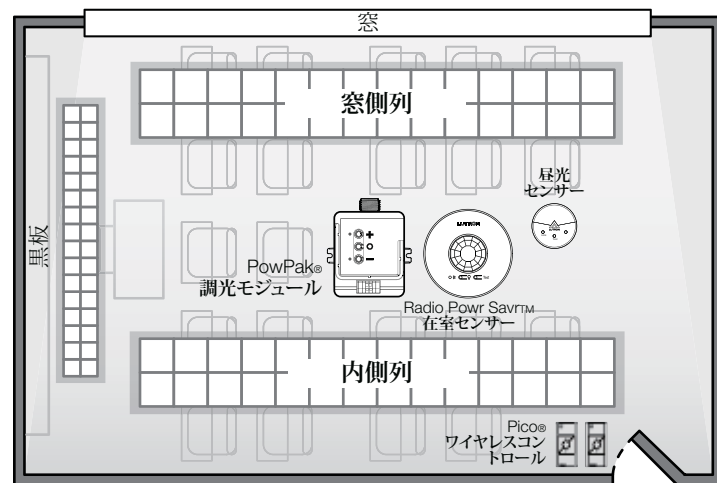
### 工場出荷時設定:

すべてのワイヤレストランスミッタは全器具を制御します。



個室や小さい部屋にグループ化は必要ありません。

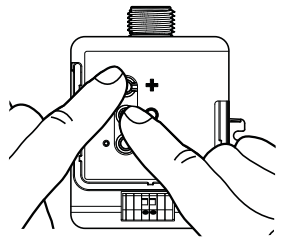
個室などの小さい部屋には全照明が同時に反応する必要があるので、グループ化は必要ありません。



大きい部屋や教室グループ化をお勧めします。会議室や教室などの大きい部屋の場合、黒板を明るくしたり、自然光のあたる列を暗くするなど部分的に調整すると便利です。グループ化をお勧めします。

## A グループ化を設定する

“○”(すべてオン)ボタンと“+”(上昇)ボタンをClear Connect®およびEcoSystem®のLEDが1/2秒間オフ、1/2秒間オフの速さで点滅し始めるまで6秒間押し続けます。



注:在室センサーはグループ化できないため、全器具を制御します。

## B グループ化を開始する

“照明オフ”を6秒間押し続ける



最初の器具が点滅します。

## C 器具を割り当てる

割り当て/割り当て解除 “照明オン”を軽く押す



割り当て: “照明オン”を軽く押し、器具を100%点灯させる。割り当て解除: “照明オン”を軽く押し、器具が調光された状態で点灯させる。

全器具の割り当て/割り当て解除を終了するまで繰り返します

次の器具 “照明オフ”を軽く押す



選択した器具が点滅します。

## D グループ化を保存する

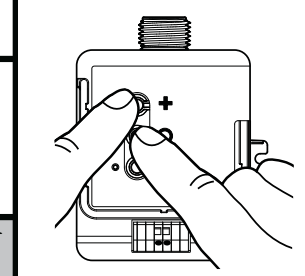
“照明オフ”を6秒間押し続ける



全器具が点滅します。これによって現在のグループが保存されます。その他のワイヤレストランスミッタについても、B - Dを繰り返します。

## E グループ設定を解除する

“○”(すべてオン)ボタンと“+”(上昇)ボタンを、LEDが点滅し終わるまで6秒間押し続けます。

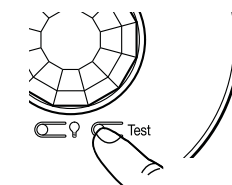


## 9 在室照度を設定する(オプション)

注:不在照度は常に最小に設定されているため調整できません。

**A** 好みの在室照度を設定します。PowPak®調光モジュールの“+/-”(上昇/下降)またはPico®コントロールの上昇/下降ボタンを使用します。注:特定の照明を在室状態によって制御したくない場合は、Pico®コントロールを用いて照明を消します。

**B** 在室照度を保存します。関連付けたRadio Powr Savr™在室センサーの“Test”ボタンを6秒間押し続けます。センサーのレンズが点滅し始めたらボタンから手を離します。\*



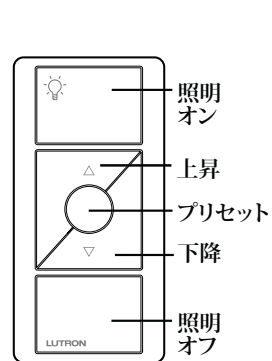
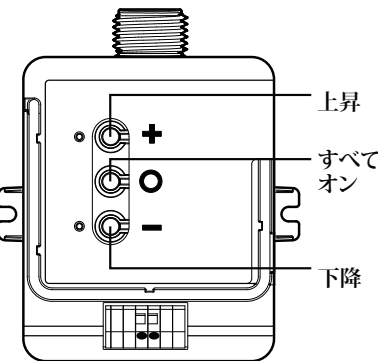
\* “Test”ボタンがない場合は、“照明オフ”ボタンを押してください。

## 11 列(窓からの)ごとによる昼光設定(オプション)



PowPak® 調光モジュール

Pico® ワイヤレスコントロール



**A** PowPak®調光モジュールの“○”(すべてオン)ボタンと“-”(下降)ボタンを6秒間押し続けます。昼光センサーで制御されない器具はオフになります。それ以外の器具は最低照度になります。(設定したい最初の照明器具が点滅し始めます。)

**B** PowPak®調光モジュールの“+”(上昇)ボタンまたは関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの“照明オン”ボタンを押して、窓側列(最低照度)から内側列(最大照度)に、または内側列(最大照度)から窓側列(最低照度)に照明器具の列グループを設定していきます。

**C** PowPak®調光モジュールの“-”(下降)ボタンまたは関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの“照明オフ”ボタンを押して、次の器具に移ります。(次の器具が点滅します。)

**D** すべての列を設定し終わるまで、手順BおよびCを繰り返します。

**E** PowPak®調光モジュールの“○”(すべてオン)ボタンまたは関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの“プリセット”ボタンを6秒間押し続けます。(窓側列が点滅し始めます。)

**F** PowPak®調光モジュールまたは関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの“+/-”(上昇/下降)ボタンを使用して、現在列を好みの照度に設定します。

**G** PowPak®調光モジュールの“○”(すべてオン)ボタンまたは関連付けたPico®ワイヤレスコントロールの“照明オフ”ボタンを軽く押して次の列に移ります。

**H** すべての列を設定し終わるまで、手順FおよびGを繰り返します。

**I** 昼光センサーの“Cal.”ボタンを6秒押し続けて校正を終了いたします。

## 工場出荷時設定へのリセット

注:場合によっては、PowPak®調光モジュールと接続したEcoSystem®デバイスを工場出荷時設定に戻す必要があります。設定を元に戻す前に、すべてのデバイスが接続され、電源が入っているかどうか確認してください。

**A** PowPak®調光モジュールのいずれかのボタンを3回軽く押してから、LEDがゆっくりと点滅し始めるまで押し続けます。(解除)

**B** LEDが3秒間点滅している間にボタンを再度3回軽く押しします。LEDが速く点滅し、本装置が工場出荷時設定にリセットされていることを示します。

注: PowPak®の関連付け設定や既存のプログラミング設定は消去されるため、プログラミングし直す必要があります。

**限定保証** ルートロンアスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より1年間を限度として、ルートロンアスカ株式会社の責めに帰すべき事由により生じた製造上の欠陥のある本製品またはその部品(付属品を除きます)を修理または交換いたします。修理または交換にあたっては、不具合の生じたユニットをルートロンアスカ株式会社に返送していただく必要があります。詳細については、ルートロンアスカ株式会社までお問い合わせください。本製品の保証は、本条項記載のものに限られます。本製品の保証の対象からは、取り付け、配線、取り外し、誤用、乱用、不十分・不適切な修理に起因する本製品の不具合、本製品の不具合により本製品以外の生命、身体、財産に生じた損害、特別の事情から生じた損害、逸失利益は除かれます。また、ルートロンアスカ株式会社が、本製品の製造上の欠陥に起因して生じた損害につき責任を負う責任は、本製品の購入価格を限度とします。本製品の保証に関する準拠法は、日本法とします。本製品の不具合から生じた紛争については、東京地方裁判所を、第一審における専属的合意管轄裁判所とします。

Lutron, Pico, EcoSystem, PowPak, Energi TriPak, Hi-lume, Clear Connectおよびは登録商標です。Radio Powr Savrは、Lutron Electronics Co., Inc.の商標です。

©2012 Lutron Electronics Co., Inc.

**LUTRON®** Lutronアスカ株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-20 第16興和ビル南館4階